

機械システム工学科「プロジェクト実習第一」

○倉田 大^{A)},中村秀二^{A)},白川武敏^{A)},清水久雄^{A)},平田正昭^{A)},廣田将輝^{A)},稲尾大介^{B)}

A) 機器製作技術系

B) 生産構造技術系

1 目的

機械システム工学科では2年前期に「プロジェクト実習第一」を開講している。機械工学における機器製作技術は重要な基盤技術であり、実践的な教育が求められている。本実習では、すでに受講した「機器製作実習」を踏まえ、創造的な機器製作の開発に必要な技術と能力を習得することを目的としている。

2 内容

プロジェクト実習第一では、企画、設計、製作の過程を通して機器製作を実施し、創造的なものづくり実習教育を行っている。班編成により前半の実習で加工作業を個々のレベルで対応できる実習を行い、後半でスターリングエンジン模型の製作を行う。最後のまとめとして製作品のプレゼンテーションと完成したエンジンの回転数を測定し、総合評価としている。以下に実習内容と担当者【表1】を示す。

表1 実習内容と担当者

実習内容		回数	担当者
実習概要説明		1	担当教員, 廣田将輝, TA
ものづくり実習	旋盤加工	1	清水久雄, 平田正昭
	材料取り, ボール盤	1	白川武敏, 廣田将輝, 稲尾大介
	フライス盤, MC	1	中村秀二, 倉田 大
	設計	1	担当教員, TA
企画・設計・製作 (スターリングエンジン模型)		9	倉田 大, 中村秀二, 白川武敏 清水久雄, 平田正昭, 廣田将輝 稲尾大介
プレゼンテーション		1	担当教員, TA

3 期間と受講者

実習期間：平成27年4月7日～平成27年7月21日（前期 火,金曜日 3,4 限目）

受講者：機械システム工学科 2年次（99名）

4 まとめ

プロジェクト実習第一では、実習課題として α 型スターリングエンジン模型の製作に各班で取り組んでいる。事前学習を通して原理、機構、製作に関する情報を収集し、班のメンバーと協力して企画・設計・製作の過程で実際の体験を通して、工夫した点や各自が考えた点を製作に取り入れることで創造的なものづくり育成のための実践的な実習教育を目指している。